

協賛！！ JA正田山 そうめん流し

8月2日（日）11時半より、正田山の登山道を利用し、JA山口中央 青壮年連盟主催による『正田山 そうめん流し』が実施されました。

小鯖地域づくり協議会としては、協賛という形で種々の手続きやお知らせ広報の発行及び当日の準備と後片付け等を支援しました。

お蔭様で、500人を超える来場者があり、地元産の『鳴瀧乃糸そうめん』を美味しく楽しみながら、いただくことが出来ました。



★ このイベントに際し、豊寿会より『手作り竹馬』、1区 西村道幸氏より『手作り竹製箸』を寄贈いただきました。大変忙しい中の手作り、ありがとうございました。

鳴滝砂防親水プール 盛況！！

7月21日プールオープン以来、9区自治会有志の方々にプール水門の管理を毎日行なっていたいただき、大事なく8月末にプール閉鎖をしました。大変暑い中、ご苦労様でした。

8月上旬の休日には、100人近い利用者で賑わっていました。



9月度 小鯖っ子見守り隊情報

通常以外の下校時間について

- ★ 1日(火) 2学期始業式
1～4学年 13:20
5～6学年 14:20
- ★ 10日(木) 校内研修会
1～4学年 14:40
5～6学年 15:25
- ★ 17日(木)、18日(金)
6学年 修学旅行

編集後記

今年は大雨被害がなかった反面、猛暑日が10日以上も続くという異常に暑い夏でした。皆さんは如何お過ごしでしたでしょうか。こんな夏を乗り切ったと思ったら、もう9月で稲刈りシーズンに入り、休む暇がない感じです。しかし、各専門部会は計画達成に向けて頑張っています。（真）

小鯖地域づくり協議会だより

第69号（平成27年9月1日）

正田山

山口市下小鯖2519番地

小鯖地域交流センター内

TEL/FAX (083)927-2263

(メール) osabacsk@c-able.ne.jp

(ホームページ) <http://www.c-able.ne.jp/>

osabacsk/

キャッチフレーズ：〔自然豊かで 安心して暮らせる小鯖〕

第30回『小鯖夏まつり』開催！！



8月8日（土）夕方5時半より 恒例の『小鯖夏まつり』が小鯖小学校グラウンドにて開催されました。早い時期から、「夏まつり実行委員会」の下で繰り返し打合せが行われ、今年は天気にも恵まれ、多くの来場があり 家族連れの姿が目立ちました。

そんな中、「小鯖地域づくり協議会」の取組みとして、『防災機材展示コーナー』や『竹馬コーナー』を設けたり、ステージ上で『さばろっち』誕生のいきさつ等を紹介しました。また、地区外の人達にも『小鯖夏まつり』に関心をもって貰うために、新聞・テレビ報道機関等への情報提供する取組みもしました。

来年は、地域づくり協議会と実行委員会が更に一体となった『夏まつり』にしたいものです。色々、準備や後片付けを手伝っていただいた方々、ご苦労様でした。ありがとうございました。



お知らせ

市報『やまぐち』等で、既にお知らせしておりますが、小鯖地区として関連する事項について記載します。

① 山口市ほっと安心SOSネットワークを開設 (7月1日)

家族で認知症の方が、行方不明になった際に、地域の皆さんの協力を得て、いち早く発見するための取組みです。

認知症等により行方不明になる可能性のある方の情報を事前に登録し、その方が行方不明になった場合に、家族等からの依頼により、身体的特徴や服装などの情報を、協力事業者及び市民（防災メール登録者）に配信し、情報提供をお願いするものです。

『詳しい内容』や『事前登録』、『防災メールへの登録』等についてのお問い合わせは、下記の所をお願いいたします。

- ・山口市高齢・障がい福祉課 (083-934-2758)
- ・山口市北東地域包括支援センター (083-941-6672)

また詳しくは、市報『やまぐち』7月1日 NO23号 7ページをご覧ください。



② 公共交通 JRバス 山口・防府線の運行調査実施

山口市公共交通委員会において、『JRバス 山口・防府線の利用促進』について検討されています。そして小鯖地区に対し『マイカーと公共交通の上手な使い方について考える』プロジェクトへの協力依頼が来ており、9月末から国道262号線沿線の自治会を通して、セミナーやアンケート調査が行なわれる予定です。

色々な社会背景の変化により、以前と比べると一日通してバス利用者がかかなり少ない状況になっています。

小鯖地区の公共交通網としては、国道262号線運行のJRバス、防長バスと小鯖上郷地区運行の小鯖コミタク（小鯖コミュニティタクシー推進協議会）のみです。

小鯖全体としての『コミュニティ交通のあり方』について真剣に考える時期が来ています。この機会に、セミナーやアンケートを通して大いにアイデアや意見を出してください。



③ 山口市 防災行政無線の運用開始について

7月初旬に小鯖地域交流センターにて『防災行政無線』についての説明会が行なわれ、7月中には運用開始予定と説明がありましたが、9月1日より運用開始となりました。

この『防災行政無線』は、電子サイレンと音声放送で緊急事態をお知らせするもので詳しくは、市報『やまぐち』7月1日 NO23号 4、5ページをご覧ください。

緊急時・災害時の放送		
避難情報 避難準備情報 避難勧告 避難指示 土砂災害警戒情報 特別警報	電子サイレン 2回 60秒 60秒 (サイレンとサイレンの間には5秒の間があります)	音声放送 「〇〇地域に避難勧告を 発令しました…」
全国 瞬時 警報 システム	緊急地震速報 津波注意報 津波警報 大津波警報 武力攻撃事態	電子サイレン 4回 3秒 3秒 3秒 3秒 (サイレンとサイレンの間には5秒の間があります)
復旧 支援	生活支援情報	音声放送 「給水車は〇時から〇〇地域交流センターに来ます…」

④ 山口市一般廃棄物 最終処分場 整備について

山口市高見・相原地区に建設中の処分場も現在基礎工事の段階で 順調に進んでおります。供用開始等については、後日お知らせします。

【最終処分場の特徴】

安全・安心の観点から、施設の管理が容易であり、周辺環境にやさしく、地域との融和を可能とする『クローズド型一般廃棄物最終処分場』を整備しています。

埋立地を屋根や外壁などで囲った処分場ですので、雨や風などの自然現象に左右されません。また、動物等の飛来も防ぐことができます。

【埋立容量】

約28,000 m³(埋立予定期間を15年間に設計し推進)

★ 環境部環境政策課 最終処分場整備推進室作成の「山口市自治会連合会勉強会」資料を参照



防災ひと口メモ 第4弾

【安心安全部会】

災害時に備えての水の確保!!

・災害時の井戸水は、土砂による濁り、大腸菌・農薬等の流入汚染が考えられ、飲用として使用する時は煮沸消毒を必ずしてから。水道水も施設の被災状況によって、一週間程度水道給水が止まる事があります。

災害時に備えて、長期保存出来るものを用意したり 家庭用ポータブルガスコンロで、水を沸騰させる用具を準備しておくことも大切です。

